

# 令和6年度 部活動 活動結果

春季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

## 運動部

### 陸上競技部

#### 春季総合体育大会結果

##### 【男子】

100m 7位 土井悠暉(3年)  
200m 8位 寺本倅(3年)  
400m 7位 太田悠晴(3年)  
3000m S C 5位 田中遥翔(3年) 近畿大会出場  
5000m W 8位 安達和陽(3年)  
棒高跳 5位 田中海翔(2年) 近畿大会出場  
4×400m R 2位 近畿大会出場  
山本(3年)-太田(3年)-上嶋(2年)-寺本(3年)

##### 【女子】

砲丸投 8位 田中美空(3年)

#### 講評

新体制となって初の公式戦。6位までの近畿大会出場権獲得を目指し選手はベストを尽くしたが悔しい結果に終わった種目もあった。この結果を、近畿大会や今後の練習に活かしていく。(顧問より)

### バドミントン部

#### 結果

##### 【個人戦】

男子ダブルス 渡辺・加藤ペア 1回戦負け  
鎌田・森田ペア 1回戦負け  
丸岡・中尾ペア 1回戦負け  
男子シングルス 1回戦負け  
女子ダブルス 山口・津田ペア 2回戦負け  
田淵・三ヶ月ペア 1回戦負け  
女子シングルス 田淵 2回戦負け  
その他 1回戦負け

##### 【男子団体戦】

1回戦 VS 綾羽 0-5負け

##### 【女子団体戦】

1回戦 VS 湖南農業 3-2勝ち  
2回戦 VS 彦根翔西館 1-4負け  
県ベスト16

#### 講評

個人戦については、ここに目標を定めて調整を入れたにもかかわらず、どれも厳しい試合になった。ただ、それぞれで勝ち上がりを見せる選手や、良いパフォーマンスを見せてくれた選手もいた。

団体戦については、男子は過去一番のパフォーマンスを見せてくれた。会場のボルテージが上がるほどの熱戦を繰り広げ、惜しい試合もあったが、惨敗となった。

女子は2年生ペアの活躍や3年生の貫禄の試合運びにより、初戦を勝ち上がり、石部高校初の大会二日目に駒を進めることになった。

2回戦は今大会ベスト4の彦根翔西館だったが、3年生の山口・津田ペアが1勝をし、最後にふさわしい試合となった。(顧問より)

## バスケットボール部 男子

結果

1 回戦

石部

栗東

59

34

3	—	8
16	—	4
28	—	10
12	—	12

2 回戦

石部

河瀬

51

67

8	—	17
18	—	12
13	—	19
12	—	19

講評

1 回戦では栗東高校と対戦し、序盤はオフェンスの流れが掴めずに苦戦したが、中盤以降は普段の練習通りの動きを取り戻し、そのままの勢いで勝利することができた。

2 回戦では、序盤につけられた点差を中盤にかけて詰めることができたが、後半戦で勢いをつけた相手に差を広げられ、そのまま相手の流れを止めることができずに敗戦となった。昨秋大会のベスト16という成績を超えることができず、チームにとって悔しい結果となったが、今大会での悔しさを糧とし、次の大会でのベスト8入りを目指してチーム一丸となって練習に励んでいきたい。

(顧問より)

## 卓球部

結果

男子学校対抗

守山北高校に2 - 3 負け

男子ダブルス

安達・大川 組 2 回戦勝利、3 回戦敗退

安藤・平野 組 2 回戦敗退

男子個人

安達 康介 2 回戦勝利、3 回戦敗退

大川 翔真 2 回戦敗退

安藤 千真 2 回戦敗退

平野 豊 2 回戦敗退

講評

3 年生部員はたった1 名、練習は顧問と1 対1 で行う日も少なくはなかった。そんな苦しい状況を乗り越えたことで、非常に我慢強い試合ができるようになった。勝ちきれない試合もあったが、どの試合も最後まで結果のわからない好ゲームばかりだった。結果は悔しさの残る内容であったが、選手はいい表情をしていた。(顧問より)

## テニス部

### 結果

#### 男子シングルス予選

出口海瑠 1回戦 対近江兄弟社 4-6 で勝利

2回戦 対立命館守山 7-6 で敗退

田中伶阿 1回戦 対栗東 4-6 で勝利

2回戦 対米原 6-1 で敗退

高井健人 1回戦 対近江 6-4 で敗退

坂 孝洋 1回戦 対国際情報 6-4 で敗退

#### 男子ダブルス予選

高井・田中 1回戦 対彦根工業 3-6 で勝利

2回戦 対国際情報 6-2 で敗退

坂・出口 1回戦 対水口東 0-6 で勝利

2回戦 対近江 6-2 で敗退

#### 団体戦

石部 0-3 膳所（第2シード）で敗退

### 講評

#### ダブルス

初戦は、サーブやラリー戦で勝つことができた。2回戦は、体力の消耗もあり、勝つことができなかった。しかし、生徒らの課題であるダブルフォルトなどのミスを最小限に抑えることができた。今後の反省点をもとに、今後の練習に生かしていきたい。

#### 団体戦

3年生にとっては最初で最後の団体戦であった。相手のボールに追いつきながら返したが、スマッシュ、ボレーで決められるなど主導権を握ることができなかった。今回の団体戦を通じて、今後の練習にも生かしていきたいと思う。（顧問より）

### 結果

#### 女子シングルス予選

大宮莉彩 1回戦 対膳所 6-3 で敗退

福井愛央 1回戦 対光泉カトリック  
6-4 で敗退

#### 女子ダブルス予選

##### 大宮・福井

1回戦 対国際情報 3-6 で勝利

2回戦 対東大津 4-6 で勝利

決勝戦 対守山 5-7 で勝利  
本選に出場

#### 女子ダブルス本選

大宮・福井 1回戦 対守山 6-1 敗退

### 講評

#### シングルス

大宮は得意のロブで粘り強くラリーを続けるが、サーブリターンでの失点が目立ち1回戦敗退となる。福井は、サーブで得点を重ねるも、リターンに苦しみ惜しくも1回戦敗退となった。本戦では格上相手にも打ち負けずラリーを続け、敗戦したものの粘り強く戦い抜き1ゲームとることが出来た。試合を勝ち上がるたびにペアとしての成長を感じた。今後も楽しみである。

#### ダブルス

大宮のロブを中心としたラリー戦から、福井が前でスマッシュ、サイドへの振り回しなど多彩な仕掛けができた。接戦となった、予選決勝でも二人で声を掛け合い、終始落ち着いて相手に流れを渡さない、堂々とした試合運びであった。本戦では格上相手にも打ち負けずラリーを続け、敗戦したものの粘り強く戦い抜き1ゲームとることが出来た。試合を勝ち上がるたびにペアとしての成長を感じた。今後も楽しみである。（顧問より）

## バレーボール部 女子

結果 予選リーグ戦 1回戦

石部	甲西
0	2
$\left[ \begin{array}{l} 11 - 25 \\ 15 - 25 \end{array} \right]$	

2回戦

石部	八日市
0	2
$\left[ \begin{array}{l} 17 - 25 \\ 13 - 25 \end{array} \right]$	

予選敗退

### 講評

前回の2月の大会から、攻撃面や守備面で大きくレベルアップを図り、臨んだ今大会。序盤はゲームメイクすることができたが、中盤以降相手の流れを止められず、ゲームの立て直しができないまま敗退してしまった。選手たちは勝ちきれなかったことに対し、初めて悔しさを滲ませた様子で、この試合で感じたものはとても意義あるものであった。その気持ちを糧に、秋に向けて励んでもらいたい。(顧問より)

## 硬式野球部

令和6年度春季近畿地区高等学校野球滋賀大会

結果 1回戦敗退

対 彦根東 0-13 (5回コールド)

### 講評

守備面では、投手の制球力に甘さが出て、長打を多く浴び、大量得点となった。また、内外野の送球にも課題が残った。攻撃面では、チャンスは作れたが、ここ一番での決定打が出なかった。(顧問より)

## 文化部

## 放送部

第71回 NHKコンテスト滋賀県大会

結果 朗読部門

3-1	平松 遥	優秀賞 (3位)
2-1	西村 杏胡	278点
2-3	上西 麗蘭	244点

### 講評

3年平松さんが入賞し、全国大会・近畿大会出場を決めた。3人ともが目標を決め、練習を重ね本番で力を出すことができたと思う。(顧問より)

## 吹奏楽部

### 第62回滋賀県吹奏楽祭

#### 結果

賞のない大会であるが、任意で11月の近畿総文の県代表選考にエントリーできる。今回エントリーしたのは、本校と八日市高校の2校で、選考の結果、今回の県代表は八日市高校となり本校は敗れる形となった。

#### 講評

吹奏楽連盟会長と理事合わせて4名で審査をしていただき、以下のような講評をいただいた。「小編成ながら低音がよく鳴り、安定感のあるサウンドで演奏できていました。各楽器の solo も丁寧に演奏できていました。一方で、全体として音量をしっかり出そうとする故に、息が続かずフレーズの最後まで鳴らせない箇所がみられました。小編成の魅力をもっと出してよかったです。」

「編成上の問題でもあり、ホールの問題でもあると思いますが、低音域に対して高音域が小さく感じられます。Tuba の音がよく出ている為、少しバランスをくずしてしまう時があります。Tp も一人とは思えないほどよく吹いていると思います。Fl も Tutti になってもよく聞こえてきてすばらしい。Cl がもう少しきこえてくるともっとサウンドが明るくクリアになると思います。最後の残響の Timp のピッチが気になります。」

前提として、大編成の八日市と小編成の石部を比べることはとても難しかった。その上で今回はこのように評価したというお言葉をいただいている。夏のコンクールは小編成の学校同士で競う形になるので、今回とは違った状況になるが、反省を生かして次につなげたい。  
(顧問より)